

人 チーム 制度



育児休業のススメ

(株)建設技術研究所 星野 渉

注：顔写真は娘が笑ってくれる鉄板顔です。普段からこんな顔ではありません。

今回ご紹介するのは(株)建設技術研究所で防災業務に携わる星野渉さん。2015年4月にお子様が生まれ、同年5月に1か月間、育児休業を取得された経験がございます。

プロフィール

氏名 : 星野 渉
 所属 : 東京本社防災室
 勤続年数 : 7年
 家族構成 : 妻/長女

これまでの経歴を簡単に教えてください。

私は、2009(平成21)年に入社して、今年で8年目になります。入社時に東京本社防災室に配属されてから今も防災室で働いています。趣味は主に体を動かすことで、学生時代は柔道に勤しんでおり、入社してからは会社のサッカー部、野球部、バスケットボール部、バレー部などで汗を流しています。

なぜ育児休業を取得しようと思ったのですか？

育児休業法が改訂され、妻が産育休中であっても取得可能となったことから、取得してみようと思いました。

育児休業中はどのような生活でしたか？

基本的には、2、3時間おきに寝て起きての繰り返しです。子供は授乳、睡眠の繰り返しです。子供の生活リズムに合わせて我々夫婦も同じサイクルで過ごし、子供が寝ている間に家事をしました。その中で、主に私が担当していたのは「炊事」、「洗濯」、「掃除」、「沐浴」です。育児休業を取ったのだから、当然子供の面倒を見る事が主とと思っていましたが、子供に関しては意外と手伝えることが少なかったです。

育児休業を取得してみて良かったことはありますか？

やはり、何と言っても子供と妻と3人で過ごす時間ができたのはとても良かったと思います。毎日変化する子供の顔を24時間見ながら過ごせる機会は多分二度とないでしょう。

また、もう一点良かったのが自分の生活を見直す時間を得られたことです。今までは、自分が将来どうなりたいか、どう歳を重ねていきたいのか、考えなければいけないと思いつつも普通の業務に追われ、考える時間を取れていませんでした。育児休業の間は、家事に育児にと、すべきことは沢山ありますが、精神的には余裕があり、将来について考える時間、話し合う時間を取ることができたのは非常に良かったです。

実際に家事や育児をしてみてどうでしたか？

私は育児休業に入る前、家事は全くと言っていいほどしていませんでした。ところが、育児休業中は自然に炊事・洗濯をする自分がいました。こんなことを書くと職業病じゃないかと言われるそうですが、育児休業中でも、「暇な状態に耐えられない自分」がいることに気がつきました。仕事と同じで、常に何か役割を見つけて動いていないと気持ち悪かったんです。これは、きっと私だけではなく、少しでも効率よく業務を進めようと考えている皆さんなら同じ結果になると思います。

建設コンサルタンツ業界で育児休業取得者を増やすためにはどのようなアイデアがあると思いますか？

私が育児休業を取れたのは、子供が4月に生まれてくれたおかげだと考えています。男性が育児休業を取得する目的として、「出産後の妻を支えるため」というのが一般的です。私もそのように考えました。ただ、この目的だけでは、仕事の状況などで出産後、自分が忙しいと、その後、育児休業を取りにくくなると思います(この業界では年度末に子供が生まれたりすると難しいですね)。出産後すぐではなくとも、しばらくしてから仕事が落ち着いた時期に育児休業を取得し、育児に集中的にかかわれることで、子供のことが良くわかるようになるとか、育児について妻からの信頼を得ることができるなど、いろんな効果があると思います。そこで、育児休業取得者を増やすために、仕事の進捗状況や今後の見通しなど比較的立てやすい4月や5月に育児休業を取得することを職場で奨励することが考えられるのではないのでしょうか。

今後、そのような機会がある方にどのようなことを伝えたいですか？

今後、育児休業を取れる可能性がある方は、ぜひ活用して欲しいと思います。きっと、取って良かったと思えるはず。また今回、育児休業を取ることができた一番の理由は、室員の皆さんのフォローがあったからです。人が一人減ることは大きな負担になったと思いますが、快く送り出してくださった皆さんのおかげだと感じています。



階段を自力で這い上がる娘(1歳) たくましく育ちました。笑